

授業概要

私たちが普段何気なく口にしてしている日本語を客観的に見つめ、諸々の現象を考える手段の基礎力を養うことを目的とする。特に「ことばとは何か？」ということに焦点を当てていき、日本語に対する新たな発見ができるように、じっくりことばと向き合う時間となるよう構成している。授業では、TV 番組・新聞・流行語なども資料とし、身近な言語現象をディスカッションしたり確認問題を解いたりしながら、論理的な思考力を身に付けられるよう指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション / 国語・国語学・日本語学・日本語教育の違いとは？
第2回	日本語文法と品詞をめぐる問題
第3回	日本語の文構造 / 文法の確認問題
第4回	日本語の音声と音韻
第5回	ことばをめぐる状況 ～ことばは嘘をつく～ / グループディスカッション
第6回	ことばが伝えるもの ～表現と実験～
第7回	ことばとアイデンティティ 1：ことばとキャラクター 2：ことばとイメージ / グループディスカッション
第8回	失われつつある方言 1：方言とは？ 2：標準語・共通語・東京方言 3：標準語と権威 / グループディスカッション
第9回	世界の中の日本語 ～日本語をさかのぼる～
第10回	ことばと社会 1：ことばは変化しやすい？ 2：男ことばと女ことば 3：ことばは社会を映し出す
第11回	日本の苗字～自分の名前とその意味～ 調査
第12回	日本の苗字～自分の名前とその意味～ 発表
第13回	ことばを聞き、書く～見えないものを表現する～ 1：文字と音 2：発音できない文字 3：文字に現れないこと 4：文字の苦悩
第14回	ことばで伝える 1：丁寧なことば 2：敬語のいろいろ 3：配慮することば 4：会話を研究する
第15回	総まとめ
第16回	期末テスト（筆記試験・記述式）

到達目標

- ・自分たちが普段使っている日本語の言語現象に対して興味・関心を持つことができる。
- ・日本語を多角的な面から学び、その基本的な知識を身につけることができる。

履修上の注意

この授業は学生主体の向上心を持って積極的な態度で授業に参加すること。質問等は随時受け付けるので、授業中の私語は慎むこと。履修者の理解度に応じて、復習や知識の補充等を行う。あなたが抱いた疑問はみんなの疑問かもしれません。周囲の人に聞かずに、みんなで共有し、授業内で解決していきましょう。

板書やパワーポイントはカメラで撮らず、自分の手で書いてノートにおさめるようにすること。

予習復習

授業の最後に、翌週までにすべきことを告知する。当日はそれらが行われたものとして進んでいくので、指示された内容に取り組むこと。

評価方法

- ・授業内の確認問題・グループディスカッション・発表60% 期末テスト40%
- ・遅刻2回で欠席1回とみなす。
- ・3分の1以上欠席した受講者は原則として「未受験」扱いとし、成績評価の対象としない。

テキスト

必要な教材や資料は適宜配布する。辞書（電子辞書可）があると望ましい。